

◇第1回検討会議結果概要◇

- ◇ 日 時 平成21年6月2日(火) 午前10時～午後12時
- ◇ 場 所 市場管理事務所 3階大会議室
- ◇ 出席者 委員11名 事務局6名
- ◇ 欠席者 委員3名

- ◇ 議 題 福井市中央卸売市場の現状等について

◇ 議事経過

第1回ということで、初めに、開設運営協議会会長である吹矢副市長より挨拶をいただき、各委員の挨拶後、委員長副委員長の選出後、事務局より、検討会議設置趣旨、卸売市場を取り巻く環境変化、福井市場の現状、地方市場への転換事例等の説明をおこないました。

◇ 主な質疑内容

【委員から】

- ・説明は地方化がメインのように聞こえたが、活性化に重きを置くべきである。
- ・数年前に大分と釧路を視察してきたが、プラスの話ばかりではなかった。
- ・地方化して規制がゆるくなったとしても新しいアイデアがないと成功しない。
- ・地方化は、事業者が手を挙げて中心となって、話が中から起こるようでないとう失敗する。
- ・関連商品では、客である小売業者が減ってきたので一般市民を入れたいが、中央卸売市場では無理ということで、なんとかできないかという議論が以前からあった。



【原田委員長から】

- ・前回の検討懇話会ときは法律改正直後で他市場の動向が分からなかった。
- ・公共性と財政支出のバランスをどう取るのか、今後議論したい。
- ・転換した事例の説明で、出荷者は中央の看板にこだわっていないとのことだったが、たまたまなのか、今後どうなっていくのか判断がつきにくい。
- ・転換した時にデメリットはないのか十分検討したうえで、最終的に総括していきたい。